

みんなの 活動だより

ねん がつ
2014年7月

だい ころ 第23号

はっこう こうほう ぶ かい
発行:MISHOP広報部会

かいさい キック・オフ・ミーティング2014 開催

On June 21st, a Kick-Off Meeting was held and about 25 members have attended MISHOP's operating plan for 2014.

ねん ど しぎょうほうこく ねん ど しぎょうけいかく ほうこく
2013年度の事業報告と2014年度の事業計画を報告する「キック・オフ・ミー
こうえきざいだんほうじん み たかこくさいこうりゅうきょうかいがいんほうこくかい がつ にちかいさい
ティング2014～公益財団法人三鷹国際交流協会会員報告会～」が6月21日開催
かいじん にん さん か
され、会員25人が参加しました。

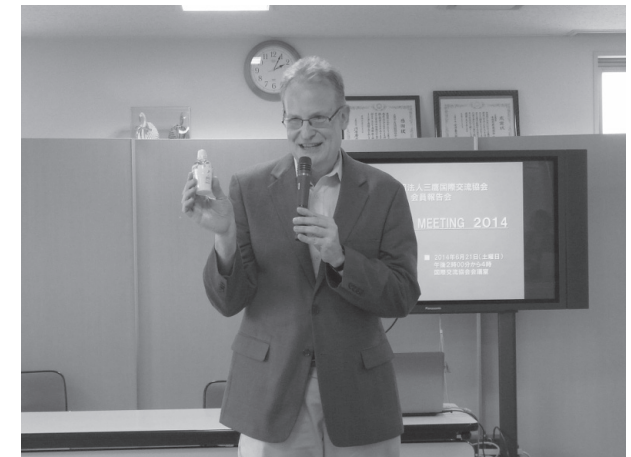
ふくり じちよう かいかいあいさつ つつ ちと じむきょくちよう つち
ジャン・プレグンズ副理事長の開会挨拶に続いて、元MISHOP事務局長の土
やひろし み たか し き かく ぶ ちようせい たん どう ぶ ちよう きよはらけい こ み たか し ちよう かいさつ だいどく
屋宏・三鷹市企画部調整担当部長が、清原慶子・三鷹市長の挨拶を代読しまし
ご りっせんてつ や し む きょく ちよう さん ほんばしら
た。その後、立仙哲也・事務局長がパワーポイントを使って、MISHOPの三本柱
ちいき こくさいこうりゅうすいしん じぎょう こくさいり かい すいしん じぎょう せいかつ きょういく
である「地域における国際交流推進事業」「国際理解の推進事業」「生活・教育
しえん じぎょう ねん ど しぎょうほうこく ねん ど しぎょうけいかく せつめい こんねん ど
支援事業」の2013年度の事業報告と2014年度の事業計画を説明。今年度も
せ かい た こくさいこうりゅう じぎょう けいかく じぎょう よさん
「世界を食べよう」「国際交流スキー」などの事業が計画されていて、事業予算は
えん はつびよう
46,256,000円と発表されました。



ねんまえ ひがし に ほんだいいんざい ぶく
また、3年前の東日本大震災と福
しまげんばつじ こ えいきよう げきげん がい
島原発事故の影響で激減していた外
こくせきし じん さくねん ど じょじょ ちと
国籍市民が昨年度から徐々に戻ってき
ていとううれいほうこく
ているといううれしい報告があり、そ
いっほう に ほんじんかいじん ぜんねん ど
の一方で日本人会員が前年度から37
にん へ げんざい にん
人減ってしまった(現在460人)と
あら かだい ていじ
いう新たな課題も提示されました。

だいに ぶ ぶ かい ぶ かい ぶ かい ぶ かい
第二部では「イベント部会」「サポートサービス部会」など六つの部会、「ジャパニー
に ほん ごきょうしつ ていれいかつどう しょうかい
ズラウンジ」「日本語教室」など定例活動の紹介があり、ほとんどの活動で外国籍
し じん さん か ぶ こ きょうしつ がつ ばい にんすう
市民の参加が増えていて、「子ども教室」のように4月から2倍の人数になったと
ころもありました。9月21日に開催される国際交流フェスティバルの実行委員長
き うんの たつ や ことし かいじょう か く ふう さくねん おな まん
に決まった海野達也さんは「今年は会場が変わりますが、工夫して、昨年と同じ4万
にん よ ほうふ かた
人を呼びたい」と抱負を語りました。

さいご きゅうかいちゆう ひと ふく かいじん ほうこく がいこくせき
最後に12(休会中の一つを含む)の会員グループが報告。「LLJ」では外国籍
がくしゅう きほうしゃ にん ふ たい に ほんじん
の学習希望者が130人に増えたのに対し、日本人ボランティアが100人弱しか
おらず、7人の学習希望者が待機中という説明がありました。また「Let's Play
Tennis」が会員の高齢化などを理由にMISHOPから独立すると表明。他のグルー
こうれいかい さん かしゃげん なや かた わか せ だい かんゆう ひつようせい うった
プからも高齢化による参加者減という悩みが語られ、若い世代の勧誘の必要性を訴え
る声が続きました。



わんぱくサッカーフェスで フェイスペインティング

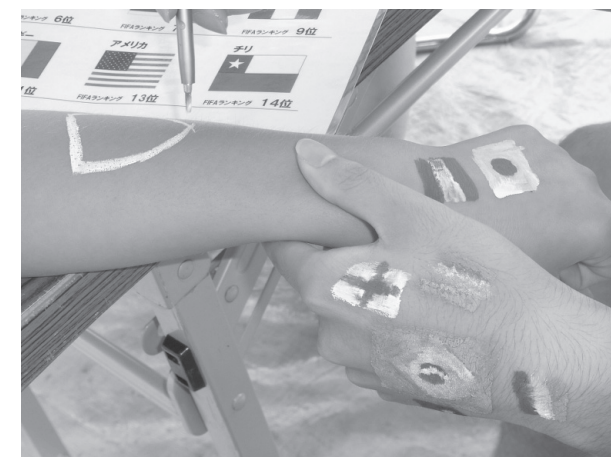
サッカーワールドカップ大会開催中の6月22日、三鷹市・三鷹市教育委員会・三鷹青年会議所主催の「みたかわんぱくサッカーフェスティバル2014」が味の素スタジアムで開催されました。MISHOPはフェイスペインティングのブースを出店。サッカーファンの小学生たちがお気に入りの国の国旗を顔や手に描いてもらい、笑みを浮かべていました。

当日は朝から雨模様で、開催が危ぶまれましたが、昼過ぎからは雨も上がり、多くの小学生たちがサムライブルーのユニフォーム姿で集まってきました。フェイスペインティングに描き手として参加したのは、亜細亜大学ボランティアセンターの学生3人と、都立三鷹高校サッカー部の4人。小学生らのリクエストに応じて絵筆を振るいました。

今年の人気No.1はワールドカップ開催国のブラジル。次いで日本、強豪国ドイツなど。サッカー歴4年の小学6年男児は、頬にドイツ国旗を描いてもらいました。「ドイツはゴールキーパーのノイアーやMFのシュヴァインシュタイガーなど強い選手が多いので応援しています」と話していました。

ボランティアの1人、亜細亜大2年の増淵翔太さんは「意外にうまくいっています。子どもたちが可愛くて楽しい」と言いながら次々と描いていました。

MISHOP participated "Wanpaku Soccer Festival" which was held at Ajinomoto Stadium, on June 22nd. 3 students from Asia University and 4 students from Mitaka High School's soccer club cooperated with our "face painting booth". We painted a lot of flags on children's faces and hands. They all looked happy and loved the event.



編集室 Message from the Editors

国際交流フェスティバルは9月21日開催が決まりました。今年は井の頭公園西園競技場が整備中で使えないため、三鷹の森ジブリ美術館前の交流広場と新設された野球場周辺が会場となります。実行委員会ではテントショップの配置などに知恵を絞っているところです。これまでとは違った雰囲気フェスティバルに期待が膨らみます。

Mitaka International Exchange Festival will take place on September 21st. This year, the venue will be set around the newly built baseball stadium near the Ghibli museum and the playgrounds near them. Members of the committee of the festival are discussing the best idea for the locations of the tent shops etc. We think this will be a nice change from previous years.